

# 2017(平成29)年度 日新義塾高3コース&時間帯

1 コース・曜日・時間帯・学習内容

学年	コース	曜日 時間	内容
高 校 3 年 生	英語総復習と 徹底暗記  9月開講	土 15:00～18:00	部活を優先するなどして受験準備が遅れた生徒など、夏の段階でも基本的な英語能力が未完成である生徒は、例年決して珍しくありません。この講座は、9月に開講し、12月までをめぐり英語の基礎能力を短期間に完成させるための日新義塾のみの特別講座です。毎年この3ヶ月で劇的に遅れを取り返す生徒が多数います。
	難関英文法	土 18:25～19:55	夏までは、難関大学レベルの段落単位の文章(難しいけれども短い文章)を緻密に精読し以下の項目の獲得を目指します。 ①長文読解における語彙力の重要性の理解、さらに痛感する ②長文の中で使われている各種文法事項にきちんと対応する能力 ③長い一文の成分(S,V,O,C)を、句と節単位で把握する能力 9月以降は入試の過去問を併用し、以下の項目の獲得を目指します。 ①速読の能力 ②分からない語彙、文法を前提にした文章大意の把握力 ③分からない語彙、文法を前提にした問題解答力
	英単語熟語 9月開講予定	土 13:00～14:30	9月より開講予定。 英語読解で最も大切な能力が語彙能力です。しかし受験英語において英単語の暗記は個々の生徒が自らの努力で行わなければなりません。多くの現役生がこれができないがために挫折してしまいます。そうした大多数の現役生を救うために起死回生のコース。
	古典知識	木 18:25～19:55	日新義塾では、以下の項目を古典読解のための基礎知識と考え、その理解・定着に努めます。 ①古典文法 →用言、助動詞、助詞、敬語の暗記。7月までに基礎知識の暗記を2回、それ以降演習を通じて2回は繰り返し行います。 ②古典単語 →300語程度に精選して、これを繰り返し、例文の中で徹底的に暗記します。 ③読書 →古今和歌集、新古今和歌集、伊勢物語、大鏡、源氏物語の重要部分の精読を行い、古典的な文脈に対する「慣れ」を養成します。
	古文読解	木 20:00～21:30	文法と古典単語集の暗記をある程度していても、なかなか実際の古文の意味はとれません。日新義塾の古文解釈は、平安朝の仏教問題、貴族社会の儀式などの知識＝精神的理解を前提とした「推理力」こそ、古文読解に必要な能力であると考え、上記「古典基礎」講座と合わせて、その獲得に努めます。この講座では、基本的に入試の実際の過去問を使用し、実践的なカンを養い、合わせて、「古典基礎」講座と同様、重要古典の読解を行い、「慣れ」を養成します。

高 校 3 年 生	漢文	月 20:00～21:30	漢文は文系教科の中でも特に現役生に敬遠される教科ですが、実は現国、古典と比較して圧倒的に短時間で達成することが可能な教科です。英語、古典と比べて暗記事項が非常に少ないからです。日新義塾では、特に重要な句形などの暗記を繰り返しつつ、入試問題と著名な漢文の多読、速読により、漢文的思考に対する慣れを培い、文章の大意をとらえる訓練を行います。世の中の数少ない漢文専門の講師が、「中国文化」と「日本文化」に対する愛と敬意をこめた熱血授業を行っています。
	現代国語	火 18:00～19:25	国語教科の中でも最も完成に時間が必要な教科です。それは暗記や受験テクニックでは解決できない教科だからです。日新義塾では、現国に必要な能力を、文章の読み方の習得、幅広い人文的知識、そして何よりも思考力であると考え、入試過去問と著名な評論文の精読、多読、日新義塾独特の方法論を持って、その修得を目指します。日新義塾自信の講座です。
	日本史	火 19:30～21:30	膨大な知識の理解、整理、そして暗記を独自の的方法論に基づき徹底する。普通は生徒任せにされる暗記に関しては、特に自信があります。近代重視の通史からスタートし、文化史、分野史を消化していく予定。レベル的には最難関受験に対応できる内容まで消化します。時間的制約が大きい現役生は、英語や古典の完成に時間が掛かり、社会はどうしても後回しになりがちですが、日新義塾では例年、年が明けてからの集中的な補習授業で、膨大な暗記を一気呵成に行い、絶大な成果を上げています。
	難関数学Ⅲ	月 18:25～19:55	理系難関大レベルの現役合格を目標としたコース。数学が完成していない現役生のために、基礎から難関大学レベルの応用まで幅広い授業を展開。最短距離の解法の提示から実践における問題の選択、多様なケースに対応した複数の答案を作成する能力の育成まで、少人数制のメリットを生かし、一人一人の生徒の解法、解答を確認した上で、個々の状況に合わせた親身な指導を行います。授業時間外の質問には講師が対応している限り対応、多くの生徒の支持を得ています。
	難関数学Ⅲ②	月 20:00～21:30	センター試験対策から難関理系大学まで幅広く行なっていくコース。数Ⅲ同様、個々の生徒の状況を担当がしっかりと把握。数学は解説を受身で聞いているだけで、個々の生徒が自ら思考しなければ進歩はありません。他教科と比べて個別の対応が必要なゆえんです。
	難関数学ⅠA	水 18:25～19:55	小論文は、大学間で問題傾向に大きな差がありますが、一般的に以下の能力が要求されます。 ①現国同様、またはそれ以上の高度な日本文の読解能力 ②高度な課題文に対する自己の意見の立て方 ③論文の書き方 このうち特に①と②の能力が可否を分けることとなります。日新義塾の小論文の授業では、高度な評論文を多読し、その内容の整理、口頭での発表に力を入れます。一見、小論文の対策とは関係ないように見えますが、思考力の養成なくして「書き方の訓練」はありえません。日新義塾はこの信念による他にはないユニークな授業で毎年大きな成果を上げています。
	難関数学ⅡB	水 20:00～21:30	
	小論文	月 18:25～19:55	
	物理	金 20:00～21:30	日新義塾の理科は、年度前半は、先ずは受験に必要な知識の解説→理解に重点を置き、9月以降は、その確認と暗記した知識を実際に入試問題で、どのように利用するかを徐々に認識していきます。浪人生と比べて圧倒的に時間的制約が大きい現役生は、英語の暗記、数学の概略の把握に時間を取られて、なかなか理科に時間をかけることができないのが現実です。日新義塾ではこうした多くの現役生の現実を考慮して、年度後半から理科にエンジンをかけていき、入試直前での完成を目指します。理想は余裕を持った準備ですが、この現実に合わせてカリキュラムで日新義塾は大きな成果を上げています。
	化学	金 18:25～19:55	
生物	金 20:00～21:30		